タウンミーティング まるちゃんカフェ

タウンミーティング 地域編 vol.12 市長と一緒にみんなで対話しながら考えよう！

地域のこれから in 野々池

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

野々池中学校

内 容

・男子の着替え場所がない。

・室内プールがほしい。

・生徒数が増えている。校舎を増やしたい。

・通学路が狭い。車の通行量が多い道路を時間規制してほしい。

参加者より

・男子は廊下の端や体育館のギャラリーで着替えている。

・学校の登下校中に緑がない。涼める場所がほしい。

市より

・明石市は13年連続で人口が増えている。国勢調査でも県内で唯一人口増加している状態。特に子育て世代が増えているので、どの学校でも同じような課題がある。

・教育委員会が今後の生徒数の推移予測をたてて、教室が足りなくなる学校にはプレハブ校舎を設置するなどの対応をしている。野々池中学についても、教室の空き具合やこれからの生徒の増え具合を踏まえて、判断していきたい。更衣室の件も含めて、教育委員会に確認する。

・プールの暑さ対策も考える必要があると思っている。

・通学路の問題については、後で場所を教えてほしい。

タウンミーティング後に確認したこと

野々池中学校では、生徒数の増加に伴い校舎が手狭となっており、普通教室以外のスペースが十分に確保できていない状況。不便をおかけしており、申し訳なく思っている。

教育委員会としては、現状や引き続き生徒数の増加が予測される今後も踏まえ、必要な教室数の確保に向け検討している。（教育委員会 教育企画室 学校管理担当）

中学生の居場所

内 容

・身近に遊べる場所がほしい。

・いつでも気軽に集える勉強、交流できる場所がほしい。学校の教室や体育館、プール、コミセンなど開放してほしい。

・中学生が室内で遊べる場所をつくりたい。

・子どもが気軽に行ける遊べる施設がほしい。友だちと一緒でなくても楽しめるところがよい。

参加者より

みんなで勉強や交流できる場を開放してもらえたら嬉しい。

市より

・2027年9月からは、みんなで勉強、交流できる場所として、ぜひicottoを使ってほしい。

・声を上げることは大切。二見の図書館にロフトができたのも、当時の高校生が声を上げたから。これからも提案してほしい。

・都市計画の中で地域によって建てられるものが決まっている。この地域は低層の住居地域でもあり、ゲームセンターなどをつくることはできないが、icottoでボードゲームをしたりすることはできるかも。考えていきたい。

タウンミーティング後に確認したこと

2026年の夏休み期間中に、こども・若者が安心して涼しく過ごせる場所として、市内12か所の交流拠点などを開放して「こども・若者サマーステーション」を設置し、飲料・パンなど軽食や居場所、自習室を提供した。（こども局 こども若者政策課）



タウンミーティング まるちゃんカフェ

タウンミーティング 地域編 vol.12 市長と一緒にみんなで対話しながら考えよう！

地域のこれから in 野々池

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

中学校部活動

内 容

部活動の地域展開が不安。

参加者より

完全に民間にお任せしてしまうのではなく、先生に部活動を見てほしいという声もある。

市より

・明石市では「あかしタイム」と名付け、新しい放課後のカタチをつくっていく。

・そのため、2026年6月には「一般財団法人学校教育サポート財団」を立ち上げた。財団が事務手続を担って、指導者が指導に専念できる体制を整えていく。

・2027年9月からは、休日は地域で、平日は校内や地域でといったやり方を、できれば同時に進めていきたい。2026年度の終わりぐらいから、どこかの中学校でモデル的に実施してもらえるよう準備を進めているところである。

タウンミーティング後に確認したこと

2027年8月末をもって現在の中学校部活動を終了し、2027年9月より平日・休日ともに「あかしタイム」を開始する。

「あかしタイム」は、生徒が自ら企画・運営する「子どもの自主的な活動」と、地域団体等が運営する「認定地域クラブ活動」により構成され、「認定地域クラブ活動」では、子どもたちの「やりたい」を、校区を越えて選択可能にすることで、多様なスポーツ・文化芸術活動や様々な世代との豊かな交流を通じた学び等、新しい価値の創出につながることを目指す。（一般財団法人学校・教育サポート財団）

ごみ出し

内 容

ごみ置き場にガラス片が散らばっている。

参加者より

神社の近くにあるごみステーションにガラス片が散らばっている。

市より

・ごみ出しマナーをしっかり伝えていきたい。2026年9月から試行される「指定ごみ袋制度」では、ごみ袋にごみ出しのマナーを記載する。意識が高まればと思っている。

街灯の設置

内 容

街灯が少なく夜道が危ない。

参加者より

鳥羽で道が入り組んでいる辺りに暗い場所がある。

市より

一定のルールや条件があるが、自治会から要望があれば街灯の設置は可能である。

病院の夜間利用

内 容

夜間に利用できる病院やAEDを増やしてほしい。

参加者より

沢池校区に診療所や歯科は多いが、夜はどこも開いていない。近くに防災センターはあるが、市内全域が対象であり救急車の数も限られている。夜間の安心のためにもコンビニにAEDを置いてほしいが、コストの関係もあり難しいとのこと。市からもお願いしてほしい。また、AEDを個人でレンタルするときの費用負担についても考えてほしい。

市より

・AEDの問題については、消防局や総合安全対策室と一緒に考えていく。

・＃7119という相談ダイヤルが2025年から兵庫県でもスタートした。救急車を呼ぶべきか迷ったときや、どの医療機関をいつ受診すればよいかわからないときに、無料で相談できる。夜間に開いている近くの病院も教えてもらえる。

・明石市では2026年度から救急隊を1隊増やしている。市民の命と暮らしを守るのが市の役割。今後もしっかり取り組んでいきたい。

施設の充実

内 容

病院、DAISO、マクドナルドなどが近くにほしい。



タウンミーティング まるちゃんカフェ

タウンミーティング 地域編 vol.12 市長と一緒にみんなで対話しながら考えよう！

地域のこれから in 野々池

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

歩道の改善

内 容

・歩道をもう少し広くしてほしい。
・歩道が狭く、車道に出ざるを得ないこともある。危ない。
・道に雑草が多く、ハチやヘビがいることもある。

市より

・歩道については、県と調整しながら少しずつ広げていっている。危険な箇所については教えてほしい。
・市が管理する道路の路線は6000弱あり、状況を確認しながら雑草の除去など順次進めている。
・明石市公式LINEの基本メニュー「不具合通報」では、道路や公園、海岸の不具合が通報できるようになっている。ぜひ登録してほしい。

自転車のルール

内 容

・周りにヘルメットをつけている人が少なくてつけにくい。
・自転車が通ることができる歩道を示す標識が分かりにくい。
・小学生に事前に教えたい。自転車が通ることができる歩道がわかるような地図がほしい。

市より

・地図の話もあったが、13歳未満と70歳以上の方は自転車で歩道を走行することができる。
・危険なときは13歳以上でも自転車で歩道を通れるが、歩行者優先で安全に走行してほしい。新しい道路には計画的に自転車道を整備している。
・自転車のルールについては、市でも出前講座をしている。わかりやすいパンフレットも作成しているので、ぜひ活用してもらいたい。

給食フードロス

内 容

給食で余った牛乳を有効活用できないか。

市より

大事な考え方。給食からフードロスを減らしていくことも大切。衛生面での基準もあるので、提案いただいた内容をいったん市の給食担当に伝えるようにする。

移動・通学

内 容

・小中学校の通学バスがほしい。
・バスの本数が少なく1時間に1本しかないときもある。交通の便を良くしてほしい。
・たこバスの本数を増やしてほしい。
・南北の移動手段がない。

参加者より

・中学校区が広く、自宅から学校まで近い人と遠い人の差が大きい。和坂だと片道40分ぐらいかかる。

市より

・徒歩で通学に1時間以上かかる中学校区で自転車通学を認めている例はあるが、明石市の規模でスクールバスは難しい。
・明石養護学校は広域での通学になるため、3年前からスクールバスを導入している。
・たこバスについては、運行の補助金が2億4000万円程度かかる。これ以上バスを増やしていくのは難しい。
・バスについては、全体的に運転手不足。たこバス以外に地域の力を借りながらできる新たな仕組みを考えている。
・たこバスと路線バスのバランスが大切。維持していくためにも、まずはバスをできるだけ利用するようにしてほしい。

日陰がほしい

内 容

・木陰がない。
・歩道に高木を植えて日陰をつくってほしい。また、ガードレールを低木に変えてほしい。
・信号の待ち時間が長い。歩道に日陰がほしい。

参加者より

・学校の登下校中に緑がない。涼める場所がほしい。

市より

・木陰は大事。神戸市は「木陰プロジェクト」をはじめた。明石市も進めていきたいと思っており、後押しになる意見をいただいた。
・毎年猛暑が続いている。どんな木を植えてどのように育てるか考えていきたい。

